



キャビンを短くすることで荷台スペースを広く確保した、大型四軸低床ウイング車。 主に冷凍食品の配送を行っている小型の冷蔵冷凍車。



執行役員 車輛統括・品質管理本部長

山口 嘉公 氏

「今後導入する車両は、なるべく共通化を図り、物量に応じて車両の移動なども考慮したいと思います」

安全管理を変革させた シンクライアントシステム

2012年4月、業務のさらなる効率化と高度なセキュリティシステム、そして災害時の事業継続の実現を可能とする、仮想PC型シンクライアントシステムを導入。サーバー上で全18拠点のクライアントの遠隔操作による一元管理が可能となった。また安全管理の体制も大きく変わったのだと、執行役員 車輛統括・品質管理本部長 山口嘉公氏は語る。

「疑似クラウドのようなものとしてデータセンターにデータを保存させ、営業所のパソコンにはデータを一切残さないようにしました。例えばドライブレコーダーの映像などは容量が大きいのでメールで送信することができなかったのですが、動画データもすべてデータセンターに保存され、どの営業所のパソコンからもスムーズに再生できるようになりました。これによってドライバーズミーティングのやり方も変わりました」(山口本部長)

良い仕事をしながら 新しい依頼を待つ我慢強さ

新しいシステムや認証取得などを積極的に採り入れながら着実に成長を遂げ、創業からおよそ45年にして、売上は50億を超える。この勢いの原動力とは何か。加藤社長は語ってくれた。

「今は、仕事を取りにくい時代ではありません。仕事を取りに行けば、相手の条件に合わせなければならない。ただでさえドライバー不足ですから、無理に受注しない方が良いだろうと考えています。日頃から良い仕事をしていれば、必ず仕事の依頼は来る。そう信じて、そのときまで我慢できるかどうか、大きな鍵なのではないでしょうか」



ふそう情報

ユーザーとのつながり



営業第四課
伊藤 英彦

国内で唯一、中型のフラットパネル ウイングを特注されています

名正運輸さんの創業年から、長いお付き合いをさせていただいております。その後もご最前線にいただき、現在はすべてのトラックにおいて弊社の車両をご愛顧いただいております。新車のご購入だけでなく、メンテナンスから下取りまで、トータルでバリュー・チェーン的にお任せいただいております。

ご購入される車両で特徴的なのは、本来スーパーグレートでしか扱っていないフラットパネルウイングを、ファイターで特注されている点です。それだけ弊社のフラットパネルを評価いただいているのは大変ありがたく存じます。また、従来の4トン車から中型免許でも運転できる最大の大きさである増トン車(11トン)への切替にいち早く着手されたのも、名正運輸さんでした。

サービス面では、車検を受けることで保証期間を延長するEXプランをご好評いただいております。

東海ふそう

熱田支店

名古屋市熱田区神宮4-3-40

☎ 052-681-7231

(9:00~17:30)



【東海ふそう】名古屋市南区星崎2-96

☎ 052-823-0211 (9:00~17:30)



三菱ふそうユーザー様の声は Web「OWNERSVOICE」でもご覧いただけます。

http://fusoeco.com/voice/